

警察官等を騙った特殊詐欺事件の発生について

1 認知日
令和7年9月13日（土）

2 発生日
令和7年9月13日（土）

3 被害金
現金 100万円

4 被害者
和歌山県西牟婁郡白浜町内居住 40代・女性

5 状況
令和7年9月13日、被害者の携帯電話に、京都府伏見警察署の警察官を名乗る男から電話があり、「詐欺グループを逮捕した。押収したカードの中にあなた名義のキャッシュカードがあった。不正利用されていないか」などと言われ、男の指示により、メッセージアプリのビデオ通話で連絡を取るようになりました。

被害者は、メッセージアプリのビデオ通話を通じて、警察官を名乗る男から、「あなたに犯罪の疑いが持たれている。金融庁にあなたのお金を振り込むと、あなたの資産を調べてもらうことができる。調査が済めば全額返ってくる。」などと言われました。

さらに、検察官を名乗る男から「金融庁にあなたの資金を振り込んで調査してもらいましょう。」などと言われ、被害者は、資金を振り込めば身の潔白が証明できると思い、同日、検察官を名乗る男から指示された口座に金融機関のＡＴＭから50万円ずつ2回、計100万円を振り込みました。

その後、被害者が詐欺を疑い、京都府伏見警察署に問い合わせたところ、詐欺の被害に遭っていることが分かり、本日、当署に届出があったものです。

6 その他
和歌山県警察では、
特殊詐欺被害防止専用フリーダイヤル
その話ホンマに大丈夫？かけて損なし『ちょっと確認電話』
電話番号 0120-508（これは）-878（わなや）

を開設（24時間）しています。

警察官や検察官をかたる詐欺が多発しています。

警察官が「資金調査」などを理由にお金を振り込ませたり、暗号資産を送信させることは絶対にありません。

そのような電話があれば、詐欺を疑って、すぐにちょっと確認電話にて確認してください。